

# 令和7年度 地域経済動向調査レポート (中小企業景況調査報告書)

## ーグラフで見る高島市の景況ー

令和7年	4月～6月	実績
令和7年	7月～9月	実績
令和7年	10月～12月	実績
令和8年	1月～3月	実績
令和8年	4月～6月	予想

## 目次

I 調査の概要	1
II 市内の景況	2
III 製造業の景況	6
IV 建設業の景況	8
V 小売業の景況	10
VI サービス業の景況	12

高島市商工会

# I. 中小企業景況調査の概要（高島市）

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料及び中小企業施策へ反映させるため、全国商工会連合会が中心となり昭和 54 年から四半期毎に全国一斉に実施している調査に併せて実施しているものです。平成 21 年 10 月からは景況調査企業数を 20 企業増やし、50 企業を調査しています。以下、高島市の景況調査の概要を報告します。

## 1. 調査対象期間

令和 8 年 1 月から 3 月期を対象とし、調査実施時点は 3 月 1 日としています。

## 2. 調査の方法

商工会職員による訪問面接調査、WEB による回答調査

## 3. 対象企業数

50 企業

企業規模

製造業・建設業・・・資本金 3 億円以下又は従業員 300 人以下

小売業・サービス業・・・資本金 5 千万円以下又は従業員 50 人以下

## 4. 調査対象企業および回答企業数（調査対象企業数 50 企業）

業種	製造業	建設業	小売業	サービス業	合計
調査対象企業数	17	9	14	11	50
回答企業数	17	9	14	11	50

## D・I とは

本報告書の中で%以外に用いている D・I 指数とはディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略です。

各調査項目について増加（上昇、好転、長期化）企業割合から減少（低下、悪化、短期化）企業割合を差し引いた値を示します。

D・I がプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）を表します。

例えば売上高で増加企業 50%、不変企業 30%、減少企業 20%の場合、

D・I 指数…… $50\% - 20\% = 30$  となり、全体として経営者の売上に対する強気の度合いを表しています。

## Ⅱ. 高島市内の産業全体の景況

前年同期（令和7年1月～3月）と比較した今期の状況を、前回調査時の結果と比較した結果は、以下の通りです。

### 【売上額】

製造業：「やや好転」状態が継続  
建設業：「やや悪化」状態が「悪化」へと改悪  
小売業：「悪化」状態が「特に悪化」へと改悪  
サービス業：「悪化」状態が継続

### 【採算】

製造業：「やや悪化」状態が「悪化」へと改悪  
建設業：「やや悪化」状態が「やや好転」へ改善  
小売業：「悪化」状態が継続  
サービス業：「悪化」状態が継続

売上額について、前期（令和7年10月～12月）と比較した今期の状況を、前回調査時の結果と比較した結果は、以下の通りです。

### 【売上額】

製造業：「好転」状態が「悪化」へと改悪  
建設業：「悪化」状態が「やや悪化」へ改善  
小売業：「やや悪化」状態が「特に悪化」へ改悪  
サービス業：「悪化」状態が継続

採算について、今期の結果を前回調査時の結果と比較した結果は、以下の通りです。

### 【採算】

製造業：「やや好転」状態が「やや悪化」へと改悪  
建設業：「特に好転」状態が「好転」へと改悪  
小売業：「やや悪化」状態が「悪化」へと改悪  
サービス業：「やや悪化」状態が「特に悪化」へ改悪

前年同期（令和7年1月～3月）と比べた来期（令和8年4月～6月）の見通しを、前回調査時の結果と比較した結果は、以下の通りです。

**【次期売上見通し】**

製造業：「やや悪化」状態が「悪化」へと改悪

建設業：「悪化」状態が「やや悪化」へ改善

小売業：「悪化」状態が継続

サービス業：「特に悪化」状態が「悪化」へ改善

**【次期採算見通し】**

製造業：「やや悪化」状態が「特に悪化」へ改悪

建設業：「やや悪化」状態が「やや好転」へと改善

小売業：「やや悪化」状態が「悪化」へ改悪

サービス業：「特に悪化」状態が「悪化」へ改善

また、今回調査において「経営上の問題点」として最も多かった回答は次の通りです。

**【経営上の問題点】**

製造業：原材料価格の上昇

建設業：材料価格の高騰

小売業：人件費の増加

サービス業：利用者ニーズの変化

## 業種別景況指標

### 【景気の売上額D・Iによる天気図】

( 対昨年同期比売上推移 および 来期の売上見通し )

	令和7年 1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	令和8年 1月～3月	(予想) 4月～6月
製造業						
建設業						
小売業						
サービス業						

( 対前四半期比 売上推移 )

























	令和6年 10月～12月	令和7年 1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	令和8年 1月～3月
製造業						
建設業						
小売業						
サービス業						

### ※天気図の読み方

























D・I値	50.1～100.0	25.1～50.0	0.1～25.0
指標			
内容	特に好転	好転	やや好転
D・I値	0.0～△25.0	△25.1～△50.0	△50.1～△100.0
指標			
内容	やや悪化	悪化	特に悪化

## 【景気の採算額D・Iによる天気図】







( 対前年同期比採算推移 および 来期の採算見通し )

	令和7年 1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	令和8年 1月～3月	(予想) 4月～6月
製造業						
建設業						
小売業						
サービス業						

( 今期(令和7年10月～12月)の採算水準 推移 )

	令和6年 10月～12月	令和7年 1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	令和8年 1月～3月
製造業						
建設業						
小売業						
サービス業						

### ※天気図の読み方

D・I 値	50.1～100.0	25.1～50.0	0.1～25.0
指 標			
内 容	特に好転	好転	やや好転
D・I 値	0.0～△25.0	△25.1～△50.0	△50.1～△100.0
指 標			
内 容	やや悪化	悪化	特に悪化

### Ⅲ. 製造業の景況

#### (1) 売上額の状況

前年同期に比べて、増加企業 26.67%に対して減少企業は 20.00%であり、増加企業が 6.7 ポイント上回っています。

また、前回調査との比較では、増加企業 13.33%に対して減少企業は 40.00%であり、減少企業が 26.7 ポイント上回っています。

#### (2) 採算の状況

前年同期に比べて、好転企業 6.25%に対して悪化企業が 43.75%であり、悪化企業が 37.50 ポイント上回っています。

また、当期の採算については、好転企業 25.00%に対し、悪化企業 25.00%で同率となっております。

#### (3) 経営上の問題点

企業が第 1 位に挙げた問題点で最も多かった回答は、「原材料価格の上昇」が 31.30%であり、次いで「製品（加工）単価の低下・上昇難」が 12.50%と続いております。

この回答を上位 1～3 位までの総合計で見ると、最も多かった回答は「原材料価格の上昇」が 16.70%、次いで「需要の停滞」が 14.60%と続いています。

#### (4) 自社の業況について

- ・仕入価格の高騰が止まらず、厳しい。
- ・物価高騰に伴う製造原価増加に見合うだけの売上増加が無く、もう少しソフトなインフレ化をしてほしい
- ・収入が物価高についていけない
- ・取引先の形態が変わってきており、永年のニーズが合わなくなっている。そのため売上・利益の減少が続く。今後は新たなニーズに対応していくための設備導入も必要となってくるため、資金面も少し不安な状態です。
- ・製品の値上げは行っているが、食品ですので値上げに限界がある。買い控えなどが発生すると売上難となる心配をしている。

【主要4指標の対前年同期比DI指数の推移と来期DI予測】

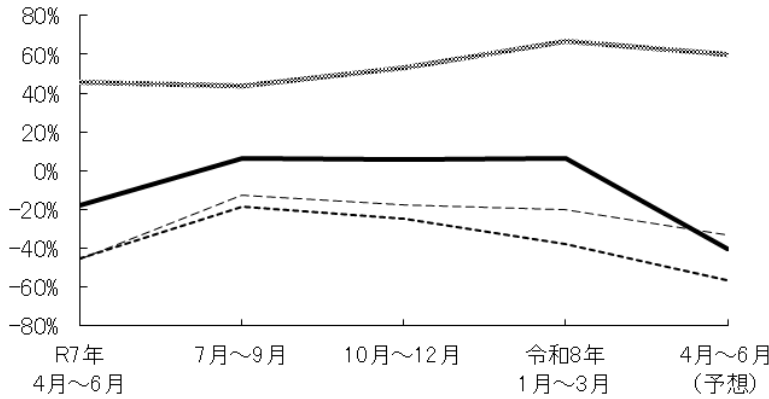
製造業	R7年 4月～6月	7月～9月	10月～12月	令和8年 1月～3月	4月～6月 (予想)
売上額	-18.2	6.3	5.6	6.7	-40.0
資金繰り	-45.5	-12.5	-17.6	-20.0	-33.3
原材料仕入単価	45.5	43.8	52.9	66.7	60.0
採算	-45.5	-18.8	-25.0	-37.5	-56.3

高島市 製造業

D.1

主要景況項目の推移

— 売上額  
- - - 資金繰り  
⋯ 原材料仕入単価  
- - - 採算

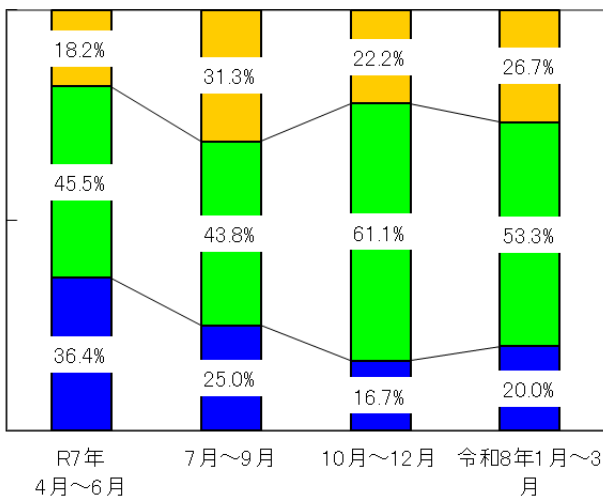


【売上・採算における前年同期比回答割合の推移】

高島市 製造業

売上額の状況 - 前年同期比 -

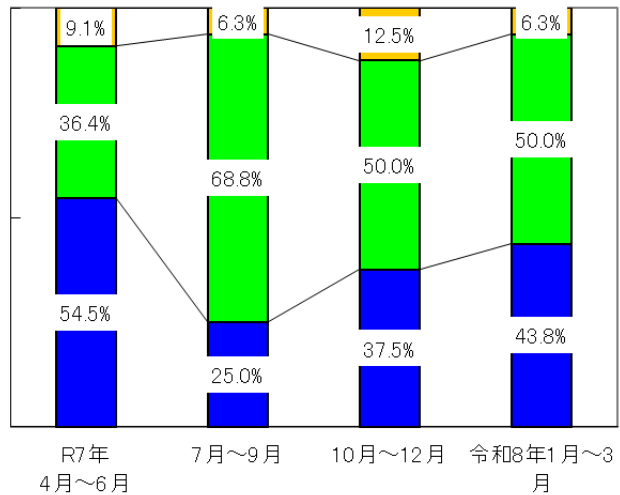
■ 増加  
■ 不変  
■ 減少



高島市 製造業

採算の状況 - 前年同期比 -

■ 好転  
■ 不変  
■ 悪化



## IV. 建設業の景況

### (1) 完成工事額の状況

前年同期に比べて、増加企業 11.11%に対して減少企業が 55.56%であり、減少企業が 44.44 ポイント上回っています。

また、前回調査との比較では、増加企業 11.11%に対して減少企業 33.33%であり、減少企業が 22.2 ポイント上回っています。

### (2) 採算の状況

前年同期に比べて、好転企業 22.22%に対して悪化企業が 11.11%であり、増加企業が 11.1 ポイント上回っています。

また、当期の採算については、好転企業 50.00%に対して悪化企業 0.00%で、好転企業が 50.00 ポイント上回っています。

### (3) 経営上の問題点

企業が第1位に挙げた問題点で最も多かった回答は、「大企業の進出による競争の悪化」が 50.00%であり、次いで「材料価格の上昇」が 25.00%と続いています。

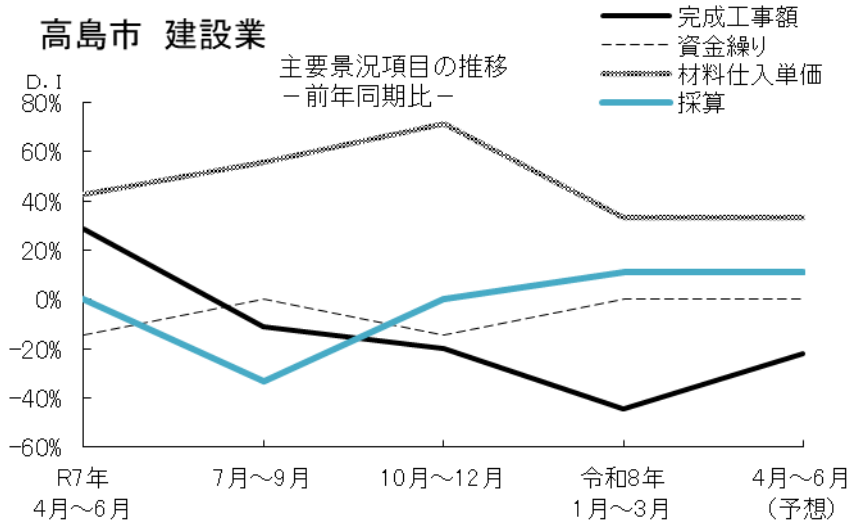
この回答を上位1～3位までの総合計で見ると、最も多かった回答は「材料価格の上昇」が 25.00%であり、次いで「大企業の進出による競争の悪化」が 20.80%と続いています。

### (4) 自社の業況について

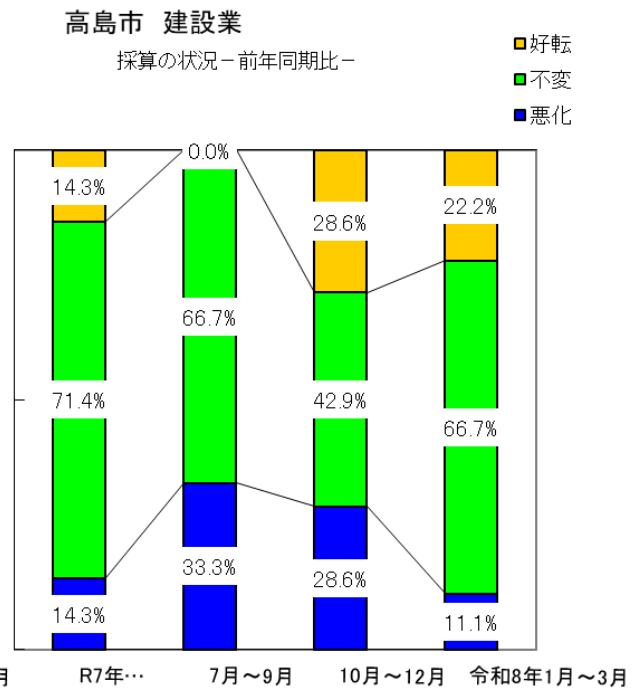
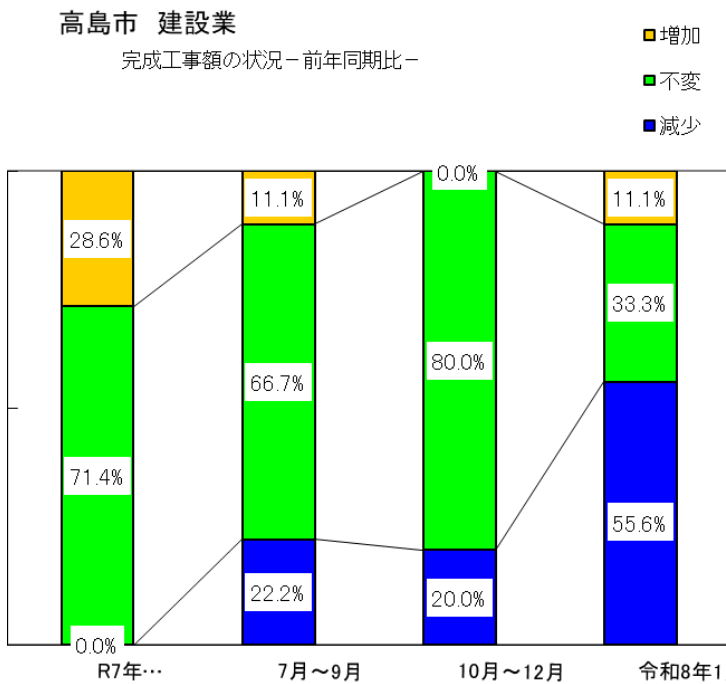
- ・ 下請工事の人件費の値上げがしにくい。
- ・ 材料価格の上昇が収まらない。
- ・ 客の転嫁の価格もまだ上がると思う。
- ・ 人口減少

【主要4指標の対前年同期比DI指数の推移と来期DI予測】

建設業	R7年 4月～6月	7月～9月	10月～12 月	令和8年 1月～3月	4月～6月 (予想)
完成工事額	28.6	-11.1	-20.0	-44.4	-22.2
資金繰り	-14.3	0.0	-14.3	0.0	0.0
材料仕入単価	42.9	55.6	71.4	33.3	33.3
採算	0.0	-33.3	0.0	11.1	11.1



【売上・採算における前年同期比回答割合の推移】



## V. 小売業の景況

### (1) 売上額の状況

前年同期に比べて、増加企業が7.14%に対して減少企業が71.43%であり、減少企業が64.3ポイント上回っています。

また、前回調査との比較では、増加企業0.00%に対して減少企業84.62%であり、減少企業が84.6ポイント上回っています。

### (2) 採算の状況

前年同期に比べて、好転企業が6.25%に対して悪化企業が37.50%で、悪化企業が31.3ポイント上回っています。

また、前回調査との比較では、好転企業0.00%に対し、悪化企業33.33%であり、悪化企業が33.3ポイント上回っています。

### (3) 経営上の問題点

企業が第1位に挙げた問題点で最も多かった回答は、「店舗の狭隘・老朽化」で25.0%であり、次いで「仕入単価の上昇」が16.70%と続いています。

この回答を上位1～3位までの総合計で見ると、最も多かった回答は「人件費の増加」が17.60%であり、次いで「消費者ニーズの変化への対応」が14.70%と続いています。

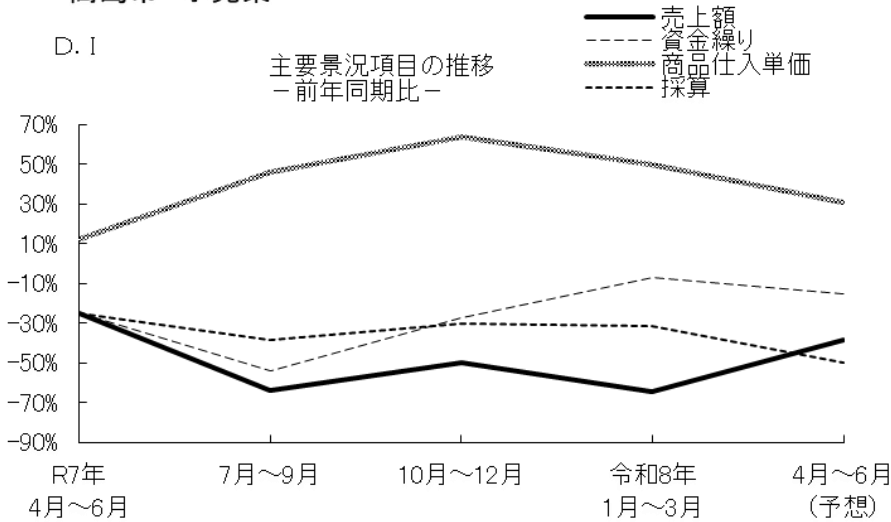
### (4) 自社の業況について

- ・商環境どんどん変化している。ドラッグストアも閉店する時代になってきた。
- ・はやく物価が落ち着き、生産者、消費者ともにいい思いができるようになることを祈るばかりです。
- ・小売業の未来は見えてこない。

【主要4指標の対前年同期比DI指数の推移と来期DI予測】

小売業	R7年 4月～6月	7月～9月	10月～12 月	令和8年 1月～3月	4月～6月 (予想)
売上額	-25.0	-63.6	-50.0	-64.3	-38.5
資金繰り	-25.0	-53.8	-27.3	-7.1	-15.4
商品仕入単価	12.5	46.2	63.6	50.0	30.8
採算	-25.0	-38.5	-30.0	-31.3	-50.0

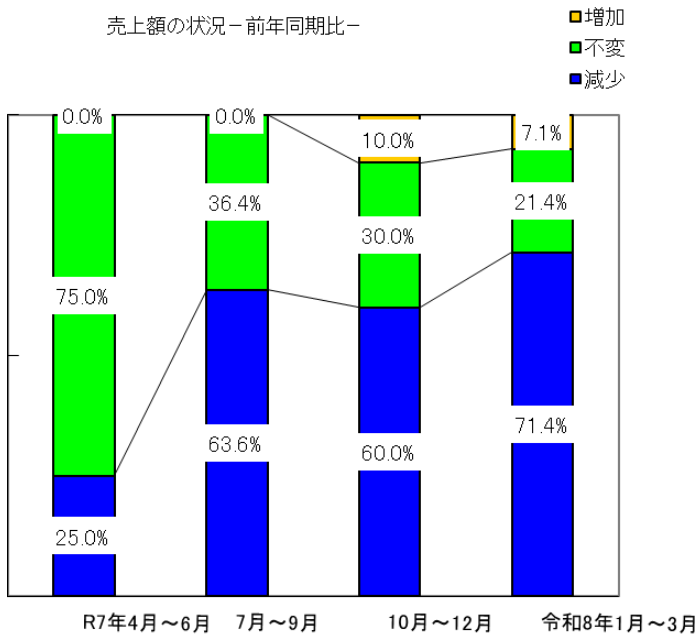
高島市 小売業



【売上・採算における前年同期比回答割合の推移】

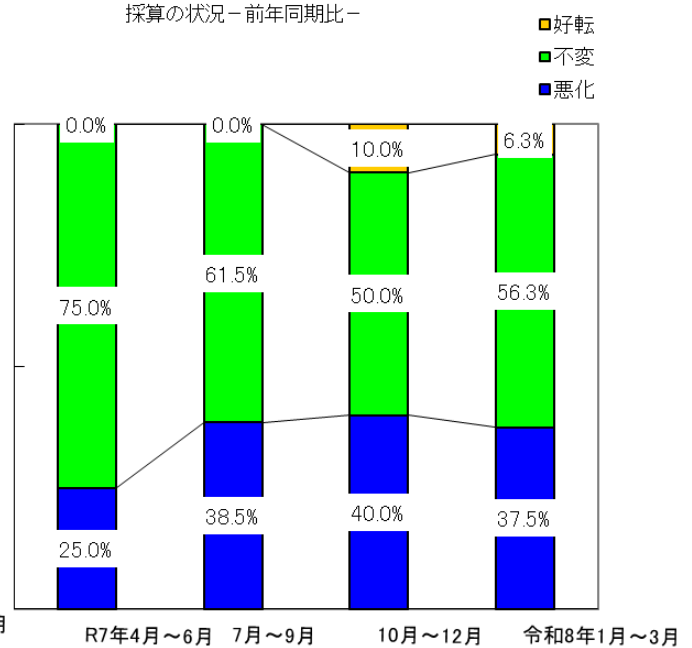
高島市 小売業

売上額の状況 - 前年同期比 -



高島市 小売業

採算の状況 - 前年同期比 -



## VI. サービス業の景況

### (1) 売上額の状況

前年同期に比べて、増加企業は 9.09%に対して減少企業が 36.36%で、減少企業が 27.3 ポイント上回っています。

また、前回調査との比較では、増加企業 0.00%に対して減少企業が 45.45%であり、減少企業が 45.5 ポイント上回っています。

### (2) 採算の状況

前年同期に比べて、好転企業は 0.00%に対して悪化企業が 27.27%で、悪化企業が 27.3 ポイント上回っております。

また、前回調査との比較では、好転企業 0.00%に対し、悪化企業 66.67%であり、悪化企業が 66.7 ポイント上回っています。

### (3) 経営上の問題点

企業が第1位に挙げた問題点で最も多かった回答は、「従業員の確保難」が 40.0%となっております。

この回答を上位1～3位までの総合計で見ると、最も多かった回答は「利用者ニーズの変化への対応」「店舗の狭隘・老朽化」が 18.8%であり、次いで「従業員の確保難」、が 15.6%となっております。

### (4) 自社の業況について

- ・最低時給を上げればいい！の一点張り（風潮）ですが、単に最低時給をあげるよりも、他の方法を模索してほしい（小規模事業者の締め付けにすぎない）
- ・なんで最低時給ばかり、“アホの一つ覚え”みたいに上げるのか??

【主要 4 指標の対前年同期比 DI 指数の推移と来期 DI 予測】

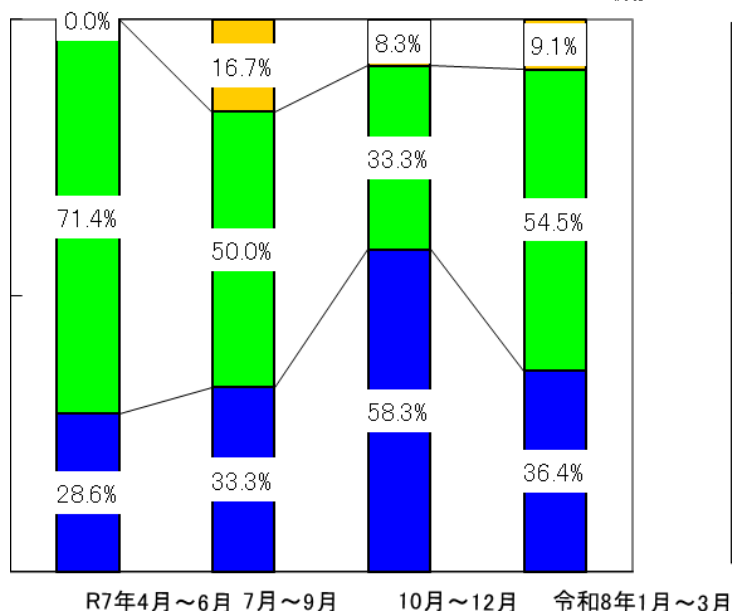
サービス業	R7年 4月～6月	7月～9月	10月～12 月	令和8年 1月～3月	4月～6月 (予想)
売上額	-28.6	-16.7	-50.0	-27.3	-36.4
資金繰り	-14.3	-8.3	0.0	-20.0	-20.0
商品仕入単価	71.4	58.3	58.3	81.8	81.8
採算	-14.3	-33.3	-36.4	-27.3	-27.3

【売上・採算における前年同期比回答割合】

高島市 サービス業

売上額の状況－前年同期比－

■増加  
■不変  
■減少



高島市 サービス業

採算の状況－前年同期比－

■好転  
■不変  
■悪化

